

北部診療所 (現行案)

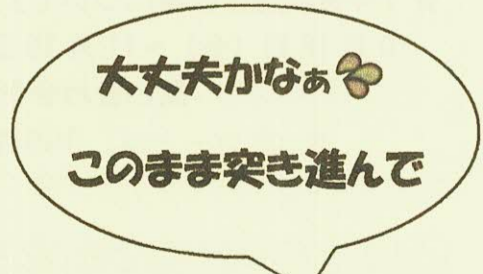
今井病院移転案(新提案)

川西市 (公設民営) 指定管理者 (医療法人協和会)	開設者	医療法人晴風園 (民設民営)
北部診療所	施設の名称	(仮称) 川西リハビリテーション病院
現病院正面駐車場	建設場所	現病院南側 (医師・看護師宿舎跡地、駐車場含む)
入院機能なし	施設内容	☆160床 (回復期120床 (内20床は地域包括ケア病床、障がい者病床40床))
☆内科3診 ※4診察室 整形外科1診 8観察室 小児科1診 外科等その他1診 計6診 (月～金 午前のみ)	外来機能	☆内科1診 (月～金 午前のみ) ※3診察室 小児科1診 (同上) *1 1処置室 土曜日休診
☆内科1診 整形外科1診 小児科1診 計3診 (土・日・祝日 午前のみ)	休日診療	☆内科1診 (日・祝・年末年始) *2 10:00～11:30 13:00～16:30 ※ 現保健センター・応急診療所機能を移す予定
☆内科1診 (24時間急病対応) ※ 北部診療所内で薬の受け取りを行う ☆他に診療所内に開業医2診誘致予定		★現在の応急診療所は、15歳以上 (中学生除く) を対象。伊丹市にある阪神北広域こども急病センターと住み分けている。 市は、「断わることはない」としているが、注視が必要
レントゲン、超音波検査の画像診断装置 尿や血液心電図検査に対応できる分析装置や心電計を整備	検査機器	CT、X線テレビ撮影装置、X線一般撮影装置、内視鏡心電図、エコー等
まちづくりの根幹 病院 学校や保育所など子育て施設 毎日のお買い物ができる場所・・・ それらを結んでくれる公共交通 大切ですよ	その他	☆地域医療連携推進法人の立上げ (今年度中予定) (協和会・晴風園・医師会・市～予定) ☆市立川西病院閉院から川西リハビリテーション病院開院までは、現病院外来診察室において 内科1診 (月～金 午前診) 小児科1診 (同上) *3 ※ 検査機器は置かず、血液検査等も外部委託 ★ *1 小児科の費用は診療報酬と市の補助金 *2 休日診療の費用は診療報酬と市の補助金 *3 2022年9月～2023年3月までの空白期間の費用は診療報酬と市の委託料 ※ 土地は、無償貸与予定
☆診療所・建設費用8億1000万円予定 ※ 診療所の管理運営は指定管理者 (協和会) のため、市側の財政負担はなし。 ☆平日1時間に1本の無料シャトルバス運行 (キセラにある総合医療センターまで)		



応急診療所 (市役所北・保健センター内) 機能を北部の病院内に移す。

(2019年度決算額1263万3000円・医師会に委託 (診療日数76日・全体の患者数1098人。市内患者数(850人)の48%が中央部・南部。21～50歳までの患者数、全体の60%超。市民にきちんと情報提供・説明責任が果たされるだろうか?)



北部診療所の内容についての説明会は2018年2月3日に行ったきり・・・

そもそも、突然の新聞発表 (2017年5月) からはじまった市北部の2次救急病院がなくなる計画。「山下駅前24時間急病センター」が、アツと言う間に「診療所」に変更。そして今回の病院案。救急車で運ばれる、入院・手術ができる北部唯一の総合病院がなくなることへの住民の不安や憤りの声を聴かないまま、北部診療所の説明会から1年8か月。新型コロナウイルス感染拡大や毎年起こる大規模自然災害による被害。公的な責任が問われている今、もともと病院が少ない北部、住民だけでなく医師も高齢化が進んでいる北部に対して「診療所」か「リハビリテーション病院」かの2者択一を迫るのはいかがなものか。市がやりたい方向ではなく、住民の願いを少しでも前進させる方策こそ大切にするまちづくりを進めるべきではないか。

